

# 「阿波ふうど情報」 (vol.52)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファクシミリ 088-624-8751

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/



## 「流通改善対策」情報

### ○農林水産物のフライト輸送拡大を進めています。

県では、徳島阿波おどり空港発着の航空便活用を推進しています。その一貫として、関係機関と連携してフライト輸送の利用促進を進めており、今年度の輸送事例について報告します。

#### <情報①> 「しらす干し」が東京豊洲市場へ初出荷されました

竹内水産(阿南市椿泊)の「しらす干し」が東京豊洲市場に航空便を使ってフライト輸送されることになり、先日、徳島阿波おどり空港で関係者による「県産しらす干し初荷式」が行われました。

「しらす干し」のフライト輸送は、平成29年から関係者での検討を開始し、平成30年10月に日本航空が「新型保冷コンテナ」を開発したことによって、フライト輸送が実現することになりました。

今後、低温輸送が可能となる「新型保冷コンテナ」の活用が大いに期待されます。



新型コンテナの説明

#### <情報②> 「ぶどう：シャインマスカット」の試験輸送が行われました

JA美馬管内で栽培された「シャインマスカット」が、関東市場での販路拡大を目指すため航空便を使った輸送を行いました。卸売市場の評価も高く、今後の取組が注目されます。

#### <情報③> その他品目「鮎」「しいたけ」でも取組んでいます。

## その他：県外事務所情報

### ○「徳島県産しいたけ」による食育授業（提供：県名古屋事務所）

10月22日(月)、名古屋市千種区の椋山女学園大学附属幼稚園及び附属小学校で、年長組園児、5年生とその保護者を対象に、JA徳島市眉山支所の「菌床ブロック」を用いた「しいたけ栽培教室」を開催し、食育の推進と併せ、徳島県産しいたけや県産農産物をPRしました。

県名古屋事務所長の「生しいたけの生産量日本一」の話に、意外そうな顔で聞いていましたが、しっかりとアピール出来ました。

特に、5年生は3人一組で生徒がしいたけを栽培し、各クラスで子どもたちが水やりなどの世話をしました。1週間後にはブロックを埋めつくすほどになったしいたけを子どもたちが手で収穫し、クラスのみんなで試食したり、持ち帰って各家庭でその味を楽しみ、未来の消費者に「徳島産しいたけの魅力」が伝わったと考えています。

詳しくは、次の椋山女学園HPを参照してください。

食育推進センター「新着情報」 <http://shokuiku.sugiyama-u.ac.jp>

小学校「新着情報」 <http://www.sugiyama-u.ac.jp/primary/>

幼稚園「新着情報」 <http://www.sugiyama-u.ac.jp/kinder/>



県担当者から説明



しいたけに触れてみる

○今後もマーケットイン型産地づくりの提案活動を行いますので、御協力をお願いします！

## 「とくしまブランド推進機構」

愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に育まれた幸をもたらす」ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。